

主要事業評価シート(第1次実施計画/H29・30・31年度)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	産業建設部
	17062	創業等支援事業	課名	産業振興課 商工業・地域交通G
	施策の大綱	03:交通拠点性を生かした産業基盤の強化	財	会計
	基本施策	02:地域に根ざした商工業の活性化	務	款
	施策の方向	04:新たなビジネスの創出	科	項
戦略プロジェクト	-	目	目	02:商工業振興費
事業予定期間		H 29 ~ H - 年度	主な根拠法令要綱等 三重県市町連携型中小企業金融支援補助金交付要領	

② 目的・概要	対象	市内での創業予定者や創業後間もない事業者
	目的	当地域の創業支援機関と連携し、市内での創業を目指す若者や女性等を積極的に支援するとともに、市街地における空き店舗対策を図ることにより、地域産業の活性化を図る。
概要	市内での創業予定者や創業後間もない事業者を対象に、専門家を講師とした創業支援セミナーや個別相談会を開催する。また、創業資金融資にかかる保証料及び利子の一部を補給することにより、スタート段階における資金繰りを支援するとともに、空き店舗等を活用した開業を支援するため、店舗改装費に対する補助金を交付する。	

③ 事業の計画・実績	平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	年度計画	<ul style="list-style-type: none"> ○創業支援セミナーの開催 ○創業融資にかかる保証料補給 ○創業融資にかかる利子補給(新設) 		<ul style="list-style-type: none"> ○創業支援セミナーの開催 ○創業融資にかかる保証料補給 ○創業融資にかかる利子補給 ○空き店舗等活用支援補助金の交付 		<ul style="list-style-type: none"> ○創業支援セミナーの開催 ○創業融資にかかる保証料補給 ○創業融資にかかる利子補給 ○空き店舗等活用支援補助金の交付
年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ○創業支援事業(創業塾)の開催(全4回) 受講者数17人 ○小規模事業者等経営支援事業(専門相談) 延べ6社12回 ○創業融資にかかる保証料補給 4件 保証料補給額計324,900円 ○創業融資にかかる利子補給 1件 利子補給額計13,400円 					
事業費	計画額	事業費	1,900千円	4,300千円	4,600千円	
		国庫支出金				
		県支出金		200千円	400千円	
		地方債				
		その他				
予算額	事業費	事業費	1,814千円	4,184千円		
		国庫支出金				
		県支出金		230千円		
		地方債				
		その他				
決算額	事業費	事業費 ①	1,375千円			
		国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
一般財源	1,375千円	0千円	0千円			
人件費	総人件費 ②	総人件費 ②	3,840千円			
		一般職員	3,840千円			
		所要人員	0.50			
		臨時職員等	0千円			
総コスト(①+②)		5,215千円				
受益者負担率		0.0%				

				平成29年度	平成30年度	平成31年度
④ 指標	①	名称	創業セミナー受講者数	計画値	20	20
			創業セミナー受講者数	実績値	17	
				単位	人	人
	②	名称	創業者数	計画値	4	4
			創業セミナー受講者のうち市内創業者数	実績値	5	
				単位	事業者	事業者
	③	名称	空き店舗等活用支援補助金交付事業者数	計画値	2	2
			空き店舗等活用支援補助金の交付を受けて市内で開業した事業者数	実績値	0	
				単位	事業者	事業者

⑤ 事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】

		評価	(判定)
⑥ 事業の評価	活動	<p>【計画どおりに実施できたか】</p> <p>平成25年度から創業セミナーを毎年度開催しており、平成29年度末の累計受講者数は78名となった。空き店舗等活用支援事業補助金については、商工会議所等と協議、調整を行い、制度設計に取り組んだ。平成29年度より創業資金利子補給制度を新設し、商工会議所等と連携し、情報発信した。</p>	A
	成果	<p>【成果は順調に上がったか】</p> <p>平成29年度における創業件数は5件となり、成果指標の計画値である4件を上回った。(創業セミナー開催時からの受講者による市内での創業は累計で12件)。平成29年度開催の創業セミナー受講者17名は、今年度中の創業にまでは至らなかったが、専門家の意見や指導を受け、創業についてのスキルを習得したことにより今後、市内での創業に大いに期待できる。また、平成29年度創設の創業資金利子補給制度も1件の申請があり、創業者の負担軽減と経営の安定を図ることができた。空き店舗活用支援事業補助金を制度化することで、今後の創業支援に繋げることができた。</p>	A

⑦ 今後の対応方針	課題	<p>【課題は何か】</p> <p>「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に若者・女性の創業等について関連施策が位置付けられていることから、今まで以上に商工会議所と連携しながら、内容充実の検討を図る必要がある。本市の発展の中心となる役割を担う市街地の活性化を図るため、空き店舗等の解消による商業の活性化及びにぎわいの創出が必要である。</p>	<p>今後の方向性</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 拡大</p> <p><input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p> <p>【その他の場合、その内容を記載】</p>
	対応	<p>【課題に対し、どのように対応するか】</p> <p>現在行なっている創業セミナーと創業融資にかかる資金繰り支援に加え、新たに商工会議所と連携し、亀山市立地適正化計画における都市機能誘導区域内にある空き店舗や空き家等を改装して開業をする事業者に対し、新たに今年度から店舗改装費用の一部(対象経費の1/2、上限額100万円)を補助する亀山市空き店舗等活用支援事業補助金制度を設ける。</p>	
	効果	<p>【対応することで、どのような効果が期待できるか】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内創業予定者の様々な支援ニーズに総合的かつ専門的な相談対応 市内創業者の事業活動の促進 本市の発展の中心となる役割を担う市街地の活性化 空き店舗等の解消による商業の活性化及びにぎわいの創出 	
対応時期		平成30年度	

【1次評価者】	産業建設部 産業振興課 商工業・地域交通グループリーダー 青山 有希
【最終評価者】	産業建設部 産業振興課長 富田 真左哉